

男女共同参画社会をリードする女性人材の育成を目指す 高大連携特別教育プログラム

奈良女子大学は、附属中等教育学校とのあいだで、平成 20 年度より「男女共同参画社会をリードする女性人材の育成を目指す高大連携特別教育プログラム」を実施しています。

1. 目的

奈良女子大学は、基本理念に「男女共同参画社会をリードする女性人材の育成」を掲げ、平成 16 年度の国立大学法人化に際しても、この理念の実現は国立女子大学として目指すべき最も重要な中期目標とされ、教育・学生支援はもちろんのこと、研究、対外連携、管理運営を含む、あらゆる業務運営を女性人材の育成という目標に向けて収斂させてきました。

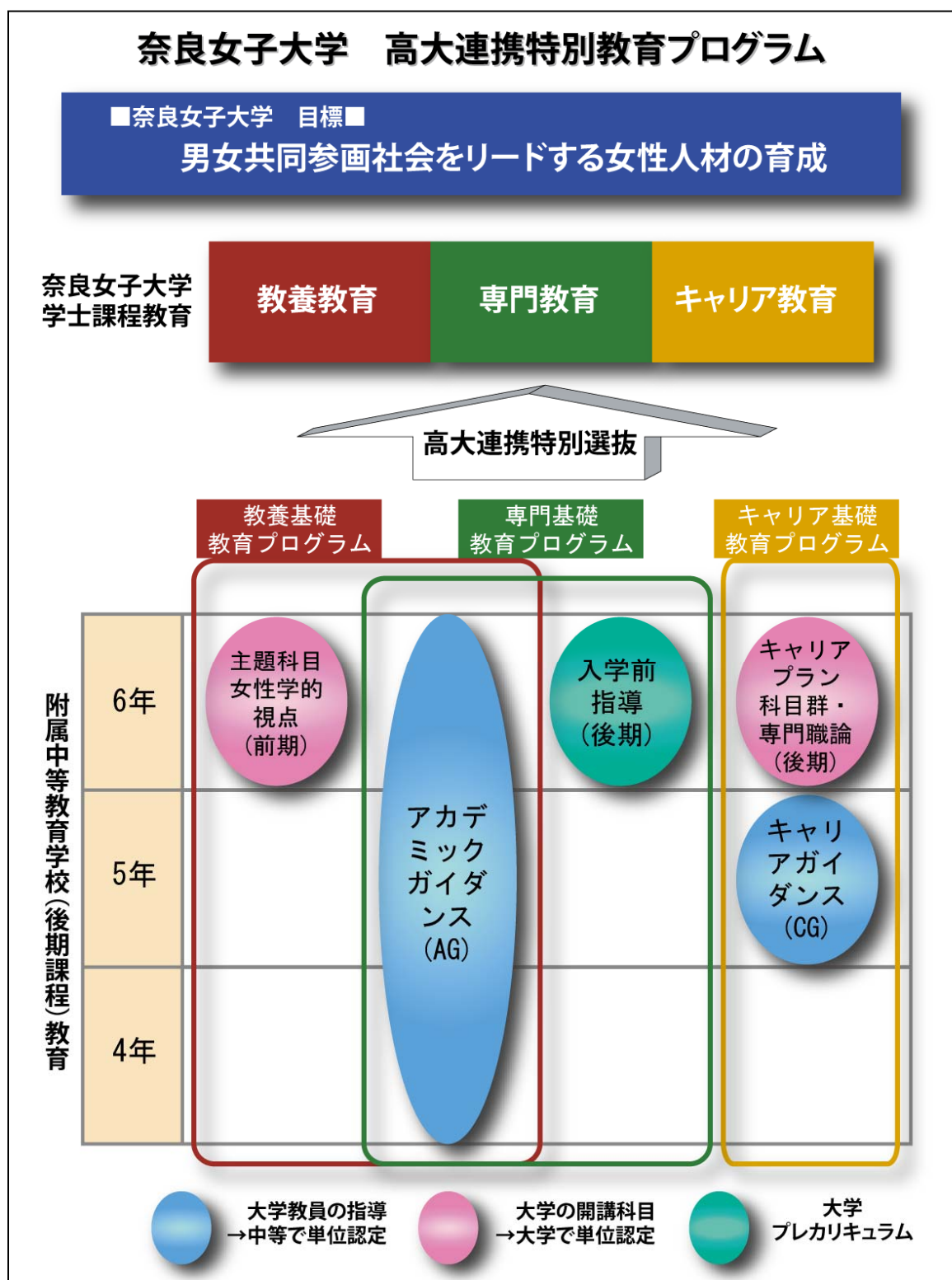
一方、大学を取り巻く新しい環境に対応した大学のあり方をめぐって、『学士課程教育の構築に向けて』（中央教育審議会大学分科会制度・教育部会、平成 20 年 3 月 25 日）にあるように、「受験生、大学の双方が多様化する中で、学士課程教育の質の維持・向上の前提として、高等学校と大学間の円滑な接続を実現し、両者の希望のマッチングを図るため、高等学校の出口管理や大学入試のシステムを改善することが求められている」ところです。

以上のような状況のもと、附属学校園を有し、様々な取り組みを実施してきた本学は、高等学校教育との接続を視野に入れて、その目標である「男女共同参画社会をリードする女性人材の育成」の強化を図るとともに、高大連携・接続の観点を踏まえた入学者選抜方法を検証するために、附属中等教育学校と連携して「男女共同参画社会をリードする女性人材の育成を目指す高大連携特別教育プログラム」を実施することにしました。

2. 奈良女子大学と附属中等教育学校との連携教育の実績

- (1) アカデミックガイダンス(AG)：4・5年生全員が必修
(平成 20 年度までは 3・4年生全員必修)
- (2) キャリアガイダンス(CG)：5年生全員必修
- (3) スーパーサイエンスハイスクール(SSH)における連携
- (4) その他

3. 概要



(1) 大学と附属中等教育学校が連携・協力して、附属中等教育学校の4・5・6年生(女子)を対象に、大学の教育の三本柱である教養教育・専門教育・キャリア教育につながる、「教養基礎」「専門基礎」「キャリア基礎」という3つの教育プログラムを実施するとともに、附属中等教育学校(後期課程)から大学の学士課程への7年間を見通した教育システムを研究開発します。

(2) 高大連携特別教育プログラムの履修生に対する追跡調査を含む同プログラムの研究のため、本プログラムを履修した附属中等教育学校生(女子)を対象とする「**高大連携特別教育プログラムに基づく特別選抜**」を平成22年度入試（平成21年秋実施）から実施します。

■募集人員

6名以内(入学定員のうち、各学部2名以内)

■選抜方法

特別教育プログラムの履修状況・履修成績、小論文・面接の成績を総合的に評価

4. 高大連携特別教育プログラムの実施・研究組織

「高大連携特別教育プログラム実施委員会」を組織し、研究を進めます。

委員長：副学長（教育・学生支援担当）

委員：文学部長、理学部長、生活環境学部長、附属学校部長、附属中等教育学校長
附属中等教育副校長、教育システム研究開発センター長

委員会には、「高大連携特別教育プログラム研究専門部会」を置きます。